

4 今後の展開

- ・畜種（鶏，豚，牛）の違いにより，溶出パターン異なる混合堆肥複合肥料を試作する。
- ・補助資材を用いた安定したペレット化条件を検討する。
- ・県内有機センターの製品堆肥を用いた混合堆肥複合肥料による製造肥料の肥効成分を検討する。
- ・ペレット化による肥効について，植物生育試験により調査する。

5 廃棄物の削減・リサイクル，適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

（指標：圧縮成形，造粒による堆肥の減容化 100%→50%）

単位：%

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和 元年度	令和 2年度
100	50	50	50	50	

6 事業費の推移

単位：千円

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度
9,284	6,115	5,177	5,158		